

# 小島地区ふれあいセンターだより

令和5年12月 第402号 運営委員会発行

愛宕3丁目10-2 電話826-7703

## 12月の行事予定

※毎週月曜日及び12月29日(金)～31日(日)は休所日です。

開催日	行事名	
1日(金)	子育て教室	午前10時～11時30分
5日(火)	小島地区ふれあいセンター運営委員会	午前10時～11時
6日(水)	生涯元気事業(すこやか教室)	午前10時～12時
8日(金)	愛宕3丁目自治会給食会	
9日(土)	秋の歴史探訪(主催講座)	午後1時30分～3時30分
12日(火)	小島愛宕地区老人連合会定例会議	午前10時～11時
	小島中学校区青少年育成協議会	
20日(水)	生涯元気事業(すこやか教室)	午前10時～12時
23日(土)	小島地区民生委員児童委員協議会定例会	午前10時30分～
28日(木)	正月用いけ花教室(主催講座)	午前10時～12時

### 【お知らせ】

#### 「正月用いけ花教室」(主催講座)開催の御案内

日時 12月28日(木) 午前10時～12時  
場所 小島地区ふれあいセンター 1階 図書室  
内容 フラワーアレンジメントを楽しみませんか！

お花は活けたまま、お持ち帰りできます。

(※お持ちいただく物 花ばさみ、お花を持ち帰り用の大きなビニール袋)

講師 納富 やい子 先生

参加費 3,500円(材料代)

定員 20名(先着順)

申込先 小島地区ふれあいセンター(電話826-7703)

申込方法 直接来所、又は、電話によるお申込み(午前10時～午後4時30分、月曜日を除く)

申込日 12月1日(金)～12月21日(木)

皆様のご参加をお待ちしています!!



(これはイメージです)



## 「秋の園芸教室」講座について

十月二十八日(土)に、小島地区ふれあいセンターの主催講座として、講師の沖迫司先生(フラワーおきさこ代表)による「秋の園芸教室」を開催しました。

テーマは「寄せ植えの基本・花苗を植える」で、二十名の方が参加されました。

寄せ植えの花の種類は、ガーデンシクラメン、パンジー、ケイトウ、金魚草、ストック、ピオラ、ノースポール、アキランサスなどの花が用いられました。

参加者の皆さんは、和気あいあいと、美しい秋の花の寄せ植えを楽しみました。



## 長崎雑話(5) 竹方其

### 長崎の蝙蝠(三)

蝙蝠は、中国では縁起の良いものとされ、富貴を表すという。わが国にも、その思想がもたらされ、長崎においては中国寺(禅師)などに、その姿(絵・像)を見出すことができる。

蝙蝠はビエンフーと発音し、「蝠」が「福」と同じフーと発音され、幸福を表しているそう。特に、五匹の蝙蝠を描いたものは「五福」と呼ばれ「長寿・富・貴・康・子孫衆多」の象徴とされている。長崎市内における蝙蝠を配したものを捜し歩いた。崇福寺の第一峰門(国宝)の扉に青の蝙蝠が見られる。又、龍宮門の庇にも描かれている。聖福寺の石門の扉には、赤の蝙蝠、欄干にも彫られている。

長崎で一番知られているのは、商標として有名なカステラの福砂屋であろう。

全国的に有名な商標としては、日本たばこ産業から発売されている「ゴールデンバット」、この煙草は明治三十九年九月に発売され、現在販売されているタバコの中で日本最古の銘柄として有名。ブランドにコウモリを使った背景には、当初、コウモリが、幸福の象徴とされる中国向けの輸出用ブランドとして企画された。灰緑色系の地に、金色のコウモリをあしらった古風なパッケージは広く知られており、近年ではレトロな好デザインとして再評価されている。

文芸作品の中にも、しばしば「バット」の名が登場し、芥川龍之介、太宰治、中原中也が吸っていたことは有名である。



○第7橋 (すずき原橋) (芋原)紺屋町

延宝9年(天和元年)(1681)架設。享保6年(1721)、寛政9年(1796)大水害で崩壊。

奉行所の費用で再架設。昭和57年の長崎大水害で崩壊、昭和61年新設。

車両通行の都合上、幅を4m弱から10m程度にまで広げ、近代式橋として架設されている。

・名前の由来は草が生い茂っていたこと、野鳥観察に絶好地、青鷺、白鷺など。

○浄土真宗 向陽山光永寺

第5橋と第6橋の間の川縁に建てられています。慶長19年(1614)慶西が創建。元々切支丹寺(サンアウグスチン教会)のあった所で、奉行所の後援で建てられた寺です。

安政元年(1854)福沢諭吉(19歳)が1年間宿泊した寺。その後、出来大工町の山本宅へ転居しています。(高島秋帆門下の砲術家、山本惣次郎宅)

明治12年(1879)ここで長崎県議会が初開催されています。計5回開催。

☆慶西は慶了(大光寺)、傳譽(大音寺)、泰雲(皓台寺)、道智(正覚寺)と共に、長崎町民のキリシタン改宗(当時の言葉で邪教退治)に努めました。

○第8橋 (東新橋) 新橋町

寛文13年(1673)に架設、寄付者は不明です。享保6年(1721)と寛政7年(1795)に大洪水で崩壊、寛政12年(1800)に奉行所の費用で架設。長崎大水害で崩壊流出しました。

旧橋の親柱に石工5名の連名で刻んであり珍しいといわれます。現在の橋は、昭和61年(1986)に作られた昭和の石橋として、唐津の安山岩を使って再架設された2代目です。

長崎の蝙蝠 (二)

蝙蝠の語源には、さまざまな説がある。川辺の洞窟などに居ることから、川を守るものの意味で、「川守(かわもり)」とする説、又、蚊を食べることから「蚊を屠り(かほふり)」とする説、蚊を好むことから「蚊を欲り(かをもり)」という説、「皮(かは)」と「ほり」、「ほり」は「張り」、「振り」が転じたもので、翼として薄い皮膜に由来する説など、いろいろの説があるようだ。

又、時代的に見てみると、平安中期には「カハホリ」と呼ばれ、平安末期には「カハボリ」と濁音化されて、その後、幾度かの音変化を経て「コウモリ」になったと言われている。

長崎では盆の頃、風頭山山麓の墓地には、多くの蝙蝠が舞う。時折の音火矢に驚いてか、身を翻し、ひらひらばたばたと、夜空を賑わす。長崎の町の中央を流れる中島川にも、夕暮れになると舞い始める。このような情景は珍しくない。夏ばかりではない。風頭山公園の桜の時期、出島橋、中秋祭には、新地中華街のライトアップに照らされた虫類を求めて舞う。

この現象が長崎の風物詩の一つにでもなればと思っている。

蝙蝠の群れ





## 「ふれあいバザー」開催のご案内及び出品のお願いについて

「小島地区ふれあいセンター」では、ふれあいセンターの円滑な運営を図るため、例年、春に「ふれあいバザー」を開催してまいりました。

令和2年度から4年度におきましては、新型コロナウイルス感染症防止対策の観点から中止しておりましたが、本年度は、下記のとおり、4年ぶりに「ふれあいバザー」を開催することといたしました。

つきましては、上記の主旨をご理解いただき、バザー献品の出品について、ご協力をお願いいたします。なお、献品につきましては、「小島地区ふれあいセンター」まで、ご持参下さるようお願いいたします。

又、ご多忙中と存じますが、「ふれあいバザー」にお出かけいただきますよう、ご案内申し上げます。

### 記

開催日時 令和6年3月3日(日) 午前10時から11時30分まで

会 場 小島地区ふれあいセンター 1階 図書室・児童図書館



## 〈新着図書のご案内〉



	書 籍 名	著 者 名	出 版 社
一 般 図 書	88歳、しあわせデジタル生活	若宮 正子	中央公論新社
	新・図解経済学入門	高橋 洋一	あさ出版
	病気がどんどんよくなる「腸のお掃除」のやり方	星子 尚美	如月書房
	麗しの花刺しゅう大全集	—	アップルミンツ
	60歳からの文章入門	近藤 勝重	幻冬舎
	レモンと殺人鬼	くわがき あゆ	宝島社
	それは誠	乗代 雄介	文藝春秋
	ノウイトオール	森 バジル	文藝春秋
	龍の袖	藤原 緋沙子	徳間書店
ごんげん長屋つれづれ帖1	金子 成人	双葉社	
児 童 図 書	伝統の和食から現代の WASHOKU	服部 幸慶	あすなろ書房
	錦鯉を創る	松沢 陽士	小学館
	とおくのしんせきよりちかくのねこ	広瀬 克也	絵本館
	もふかわイヌ	今泉 忠明	Gakken
	たいふうこぐま	おくやま ゆか	ぼるぷ出版